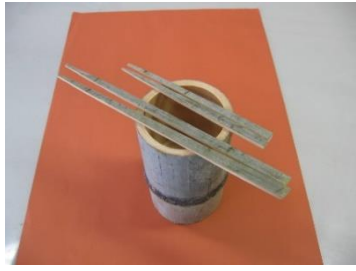


| 活動名 | | 竹ばし | | | |
|---------|--|-----|--------------|---|-------|
| 概要 | ○竹の特徴を生かしながら、竹ばしを創作する。 | | |  | |
| ねらい | ○竹の特徴を理解し、それを生かしながら創作する。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○楽しく活動し、創作の喜びを味わう。 | | | | |
| 関連教科等 | 図画工作・家庭・総合 | | | | |
| 指導形態 | ①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う | | | | |
| 時期 | 通年 | 時間帯 | 日中 | 対象 | 高学年～ |
| 場所 | 創作棟 | 人数 | ～80人／1部屋 | 所要時間 | 1～2時間 |
| 準備物 | 施設で準備できるもの | | 団体・個人で準備するもの | | |
| | 材料、のこぎり、ナタ、小刀、サンドペーパー、木づち、プロッキー、定規 | | なし | | |
| 進め方・展開例 | | | | | |
| 内容 | | | 留意点 | | |
| 活動前 | ○打合せを行う。 ○ねらい、活動の進め方 | | | ○職員の指導が活動の説明のみの場合は、説明後の進め方、片付け方を確認する。 | |
| 活動の説明 | ○竹の特徴や道具の取り扱い方を説明する。 ○作り方を説明する。 | | | ○刃物の取り扱いに十分注意させる。 ○小刀は、使うときだけ鞘から出し、自分の肩幅内で操作することを伝える。また、脇をしめて扱うよう指導する。 ○創作説明用のシートを使用する。 | |
| 展開 | ①班で協力して、竹を切る。 ②班の人数分のはしができるように、ナタで竹を割る。 ③小刀で竹を削って、はしの形をつくる。 ④サンドペーパーで磨いて完成。 ⑤片づけをする。 | | | ○役割分担をし、交代しながら竹を切る。 | |
| まとめ | ○活動をふりかえり、よかったことや楽しかったことなどを発表し合う。 | | | | |
| 評価 | ○竹の特徴を理解することができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。 ○楽しみながら作品づくりに取り組むことができたか。 | | | | |
| 発展 | ○炊飯活動等と組み合わせることで、より一層つくる喜びは増すと考えられる。 | | | | |